

2019年度は常勤医11人＋外来非常勤医の体制で診療を行っている。

外来体制は、循環器科・呼吸器科・消化器科・外科・泌尿器科・脳神経外科・整形外科・心臓血管外科・内科外来の他に乳腺外来・大腸肛門外来・糖尿病外来・肝臓外来・腎不全外来・禁煙外来の特殊外来等に変化は無く、新患者数3,504名、年間の総受診者数は38,328名で年々減少傾向にある。紹介患者は1,788名であった。

365日・24時間体制で救急外来を提供した。救急外来では、年間の受診者は4,056名で、救急車搬入では924名を受け入れた。前年より救急外来受診者は減少したが、救急車受入台数は増加した。救急外来から744名が入院となった。

総入院患者数は41,553名で、病棟別入院患者数は、一般病棟13,366名、地域包括病棟14,246名、回復期病棟13,941名だった。各病棟の在院日数、病床利用率は、一般病棟13.1日／84.9%、地域包括病棟17.5日／86.5%、回復期病棟60.7日／95.2%であった。

外来化学療法室は、手術後の治療成績向上や、延命／緩和を目的として、生活の質を落とすことなく安全で最大限の効果を得られるように各スタッフの協力の下に行っている。

当院は、急性期治療を終えてリハビリを行い在宅復帰するための中間施設としての役割も担っているが、また退院した後も継続的に支援を行うために訪問リハと通所リハを備えている。今年度は、訪問リハは1日あたり14名で延べ4,308回リハビリを提供した。通所リハは1日あたり23名で延べ6,480回リハビリを提供した。特に通所リハは前年度より1日あたり6.2名増加した。年々増加してきたが年度後半から当院のリハ提供能力の上限に達している。在宅においても元気に、生き生きとした生活を送れるように今後もサービスを提供していきたいと考えている。

予防医療として健診事業も行っており、2019年度は1,944名の健診を行った。健康への関心向上もあり年々増加している。

済生会の基本方針としての生活困窮者への生活全般への支援をMSWが中心となり取り組んでいる。2019年度は無料・低額医療は7.81%であり、前年度より1.54%増加している。今後も10%を目標として活動している。

地域医療研修のため当院では研修医を迎え入れている。2019年度は済生会熊本病院と済生会横浜市南部病院から計6名がそれぞれ1ヶ月の研修を行った。急性期病院では経験することができない地域での医療の実態をみるほぼ初めての経

験となっている。各研修医とも今までにない様々な経験を吸収しようと積極的に取り組んでいる。将来の地域医療を支えていける人材を育てるための重要な機会を提供することが当院だけでなく当地域の大事な役割となっている。